

国内事業の充実 『物心両面』、私たちが支援者の皆様方へのお礼の言葉の中でしばしば使う四字熟語です。言うまでもなく、『物』については支援活動に対しての寄附金や寄贈品であり、『心』は支援者や市民の皆様方からの応援メッセージなどを含む有形無形の「共感のこころ」であります。

この「共感のこころ」を喚起し高める場として今年も各種団体より要請を受け、講演会・公演会・報告会や研修の場をいただいたり、独自に会の企画・運営をしたりしてきました。これらは、年々歳々本法人運営の推進力としてますます重要な活動になってきています。



## 令和元年度主な講演会、公演会、報告会、研修会等

- ① 5/26 アステ国際フェスタ 演題「カンボジアにおける生活文化の掘り起こしと創造」 清水孝子・篠田恵
- ② 8/22 オアシス夏季研修会パネル懇話会 「カンボジアで見たこの1枚」 公募ツアー参加者6名
- ③ 9/8～13 第7回カンボジア教員研修招へい事業 三河地域内教育施設に於けるカンボジア教員4名との合同研修
- ④ 9/11～10/31 (4回) 豊川市立一宮西部小学校国際理解教育「カンボジア」 清水孝子
- ⑤ 10/5 あいち国際交流はなのき会講演会 演題「今、カンボジア支援活動からみえてくること」 足立泰敏 金田勝己
- ⑥ 10/25 寄附のゼミナールinあいち 演題「グローバル社会に育つカンボジア学校づくり支援」 金田文子 篠田恵
- ⑦ 2/9 TIA世界塾 演題「カンボジアの中学生が学ぶ環境教育」 杉浦修 山本克仁
- ⑧ 4/1～1/31 マジック公演 (52回) 「夢と感動を届け続けて」 平出暁 中村元



カンボジアにおける環境教育 私たち法人がカンボジア支援活動の拠点としているバイヨン中学校は、世界遺産アンコール遺跡のお膝元。また、「Heat of Cambodia」と呼ばれているトンレサップ湖水系にある農村地域の中学校でもあります。これら地域の文化・歴史・自然遺産としての良さや凄さを理解することは、郷土愛やカンボジア国民としての誇りを育むことにつながり、自ずとこれら遺産への環境保護意識を高めてきています。

私たちは、当校の環境学習を7年生学区、8年生トンレサップ湖、9年生アンコール遺跡へと順次発展させ、主として体験型の学習を全校生徒・先生たちと構想し、実践してきています。



### 「Heat of Cambodia」

カンボジア中央部に位置し、広く地域の漁業資源や水資源を支えている湖。インドシナ半島を南北に縦貫するメコン川とほぼ水平につながり、雨季になるとメコン川の水が逆流し湖が拡大、逆に乾季はメコン川へと水が流出し湖が縮小する。拡大、縮小を繰り返す湖を心臓に、出入りする水を血液に例えた呼称である。



### カンボジアの子どもたち・先生へ「伸びよ！輝け！学校づくり募金」

募金：1口3千円 あなたの3千円で公立学校の無料登校の実現が、さらに中卒者の就職の可能性を拓きます。

※国からの学校運営費は極めて少額で、小中学校では教材費・テスト代等の集金が日常化しており、このことが就学率を停滞させる原因にもなっている。

募金先：特定非営利活動法人オアシス 郵便為替：00840-8-123690